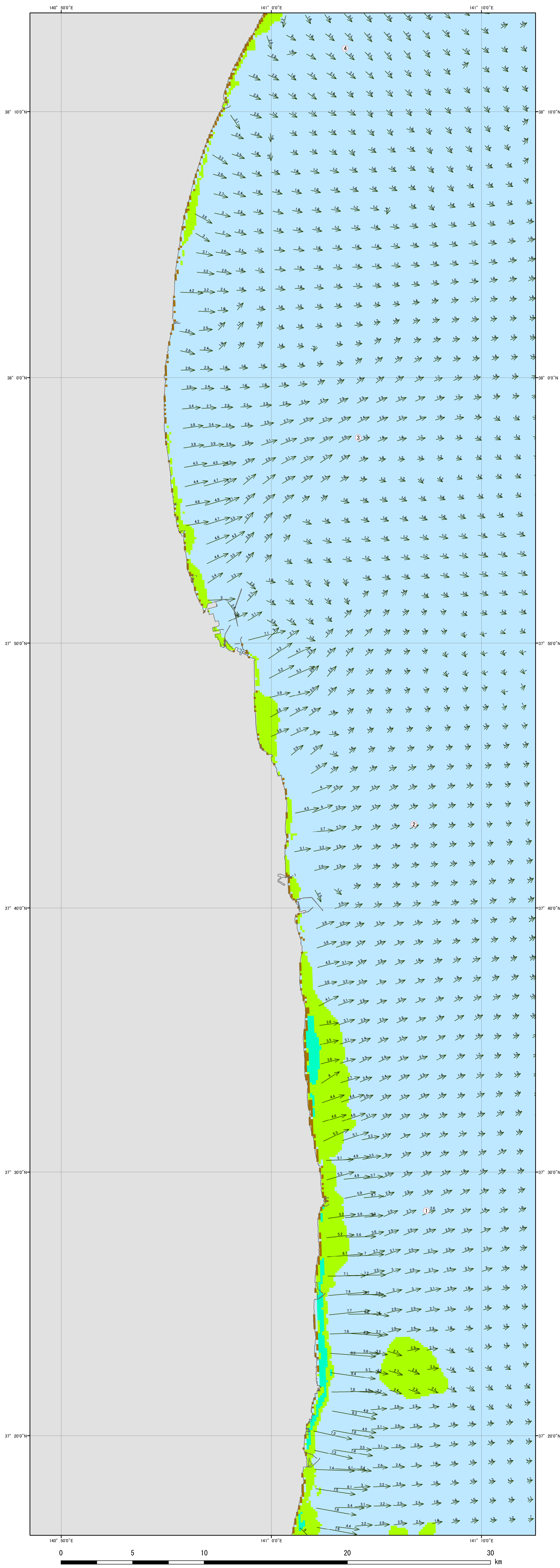


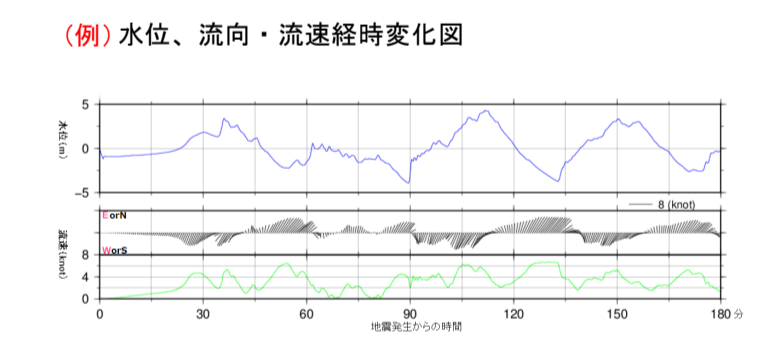
計算条件: 最低水面(零位)
隆起量: 平均 -0.03m(-0.09m ~ -0.01m)
Z0: 0.88m
備考: 本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。



凡例

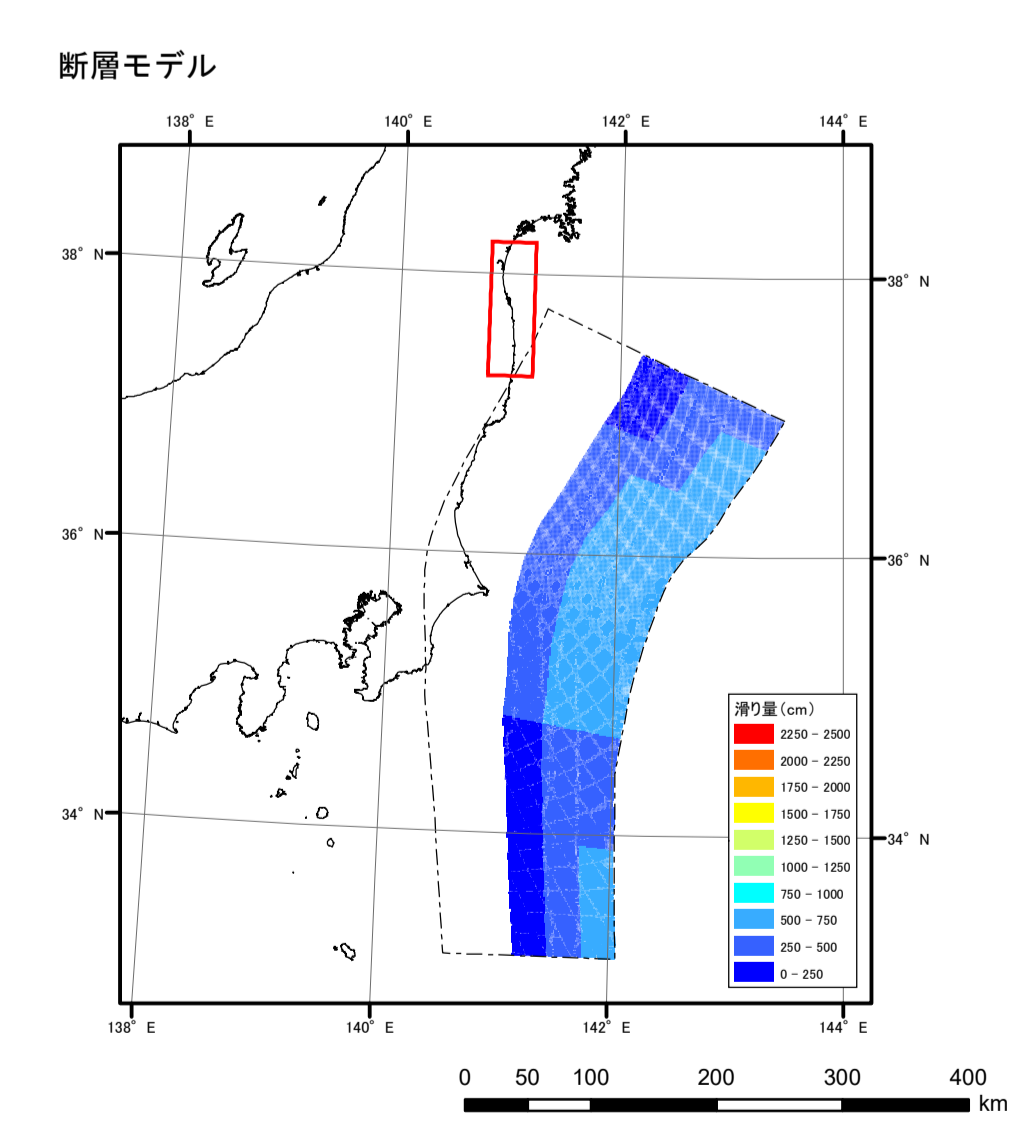
- 最大水位低下
- 3~最大4.7m
 - 2~3m
 - 0.5~2m
 - 0.5未満
 - 干出域
 - 露出域

経時変化図出力点
(図上の位置における津波の挙動を時間の経時変化図で示す。)



- 引潮時最大流 [knot]
- 6 knot
 - 4 knot
 - 2 knot

- 流向・流速の表示については、陸岸から概ね500m以上離れた地点から表示した。
- 防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものとして計算している。



本断面モデルは、内閣府の「首都直下地震モデル検討会」(平成25年12月19日発表)により公表されたものである。

○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。
○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。
・海上保安庁が保有する水深データ